

飼料自給率up! 黒毛和牛にサイレージ

概要 Abstract

黒毛和牛の育成においては、牧草サイレージ給与による軟便や体型の悪化および肥育後の肉質に対する悪影響などが懸念されています。

これらの懸念を払拭し、給与開始時期や適切な蛋白質水準を明らかにし、育成期における牧草サイレージの給与技術を開発しました。

成果 Results

①給与開始時期の検討

牧草サイレージは4か月齢から給与可能

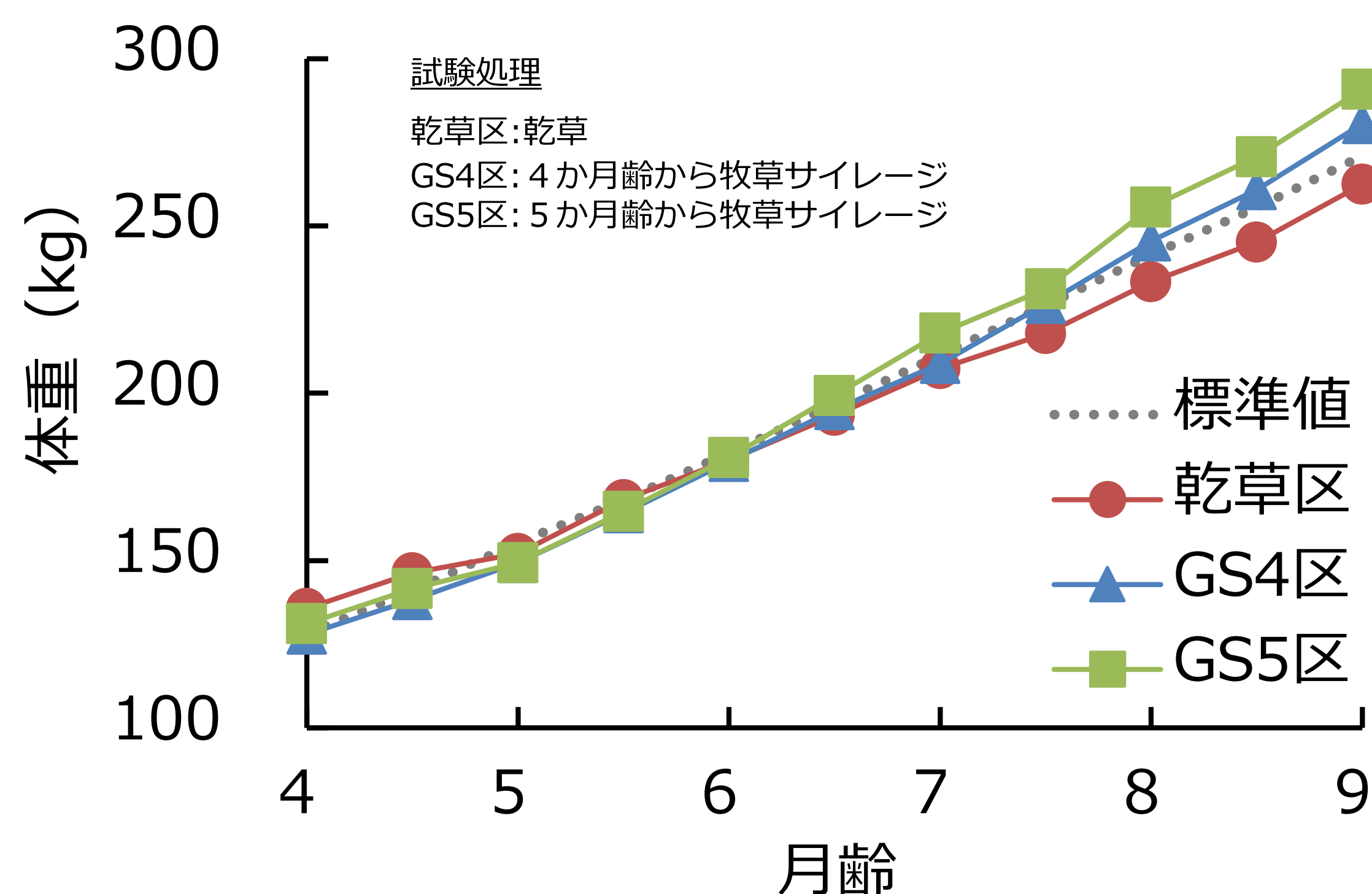


図1 体重の推移

②蛋白質水準の検討

併給濃厚飼料の蛋白質含量を18から16%に削減可能

試験処理

乾草区: 乾草 + 蛋白質含量18%濃厚飼料

GS区: 牧草サイレージ + 蛋白質含量16%濃厚飼料

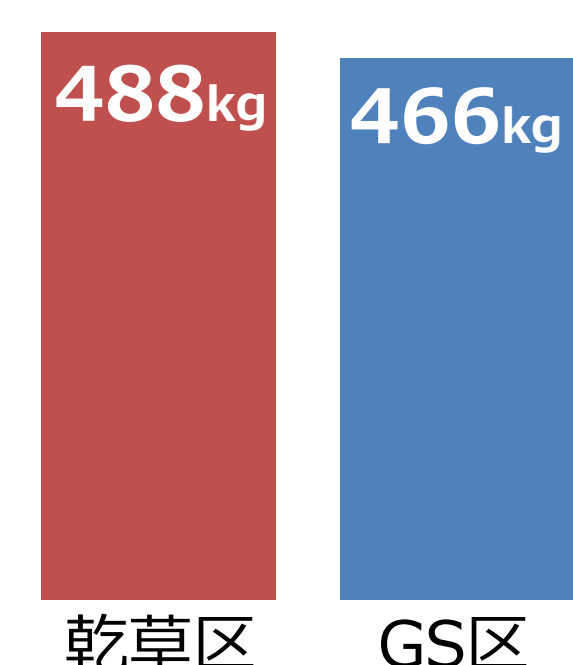


図2 枝肉重量

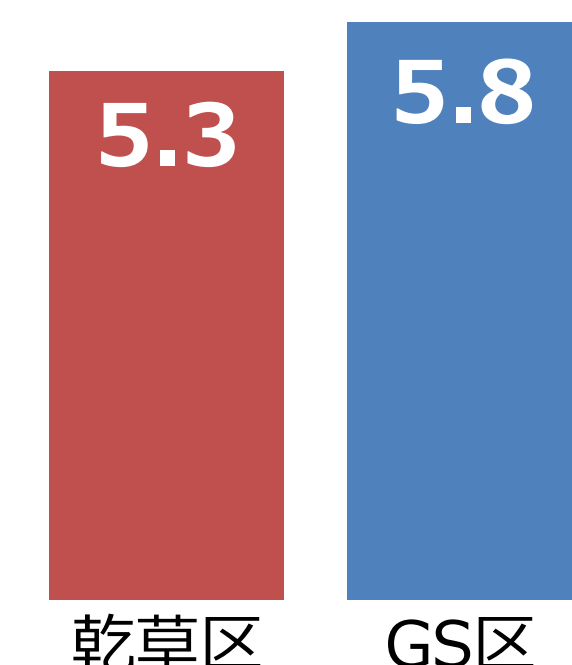


図3 BMS No.

BMS: 牛脂肪交雑基準

(No1~12で格付けされ12が最も脂肪交雑が多い)



牧草サイレージ給与牛の枝肉

(写真提供: 帯広畜産大学口田研究室)

③給与マニュアルの作成

①・②の結果をもとにマニュアルを作成

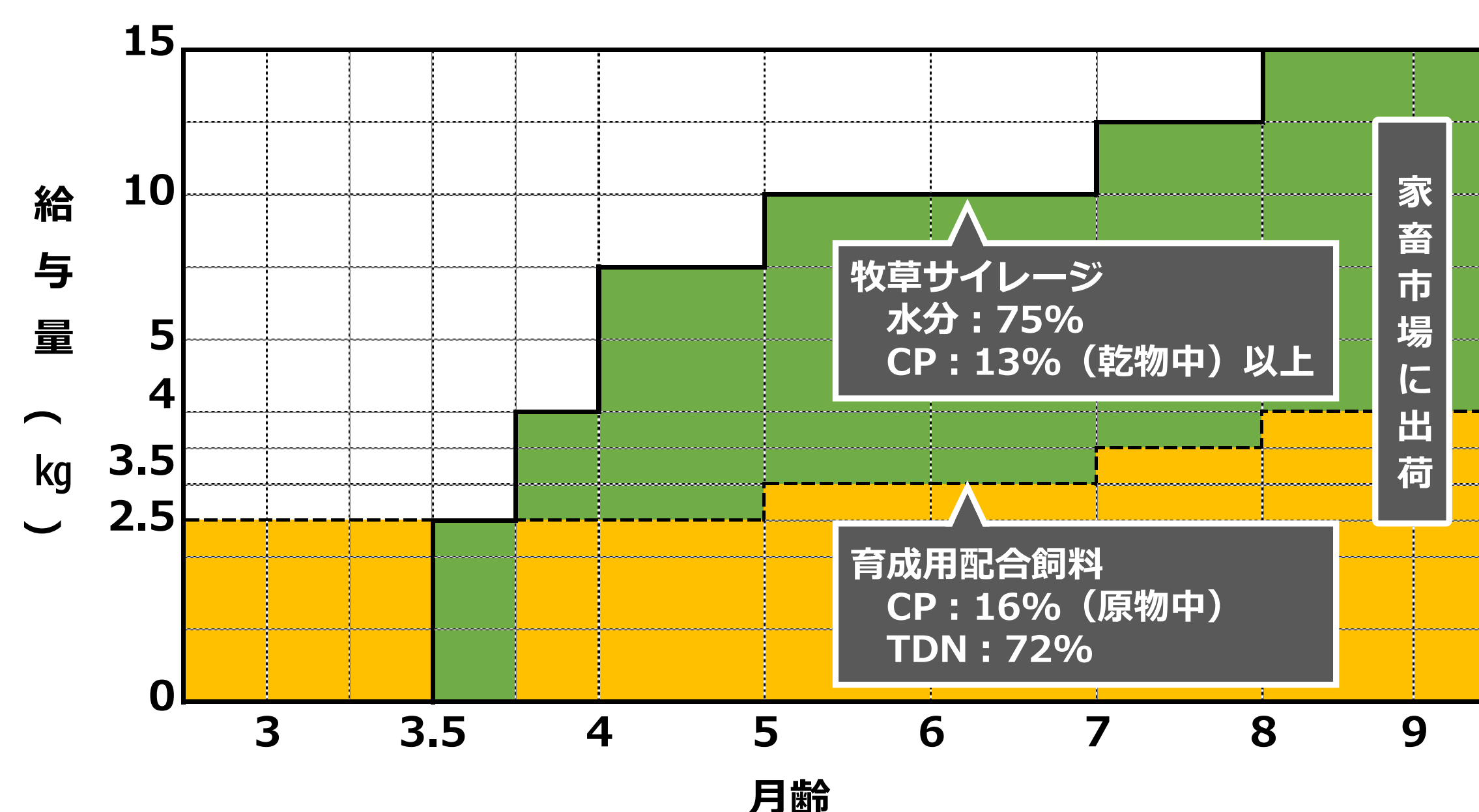


図4 牧草サイレージ給与マニュアル

④黒毛和牛農家で牧草サイレージ給与

発育は良好で、市場の平均価格を上回りました



子牛市場での牧草サイレージ給与牛

55万円で落札 (市場平均価格は51万円)

普及 Dissemination

黒毛和牛に牧草サイレージは4か月齢から給与可能です。また、併給する濃厚飼料の蛋白質含量を減らして、飼料費を削減することが可能となります。

連絡先 Contact

畜産試験場
家畜研究部 肉牛グループ
0156-64-0610
endou-tetusiro@hro.or.jp